

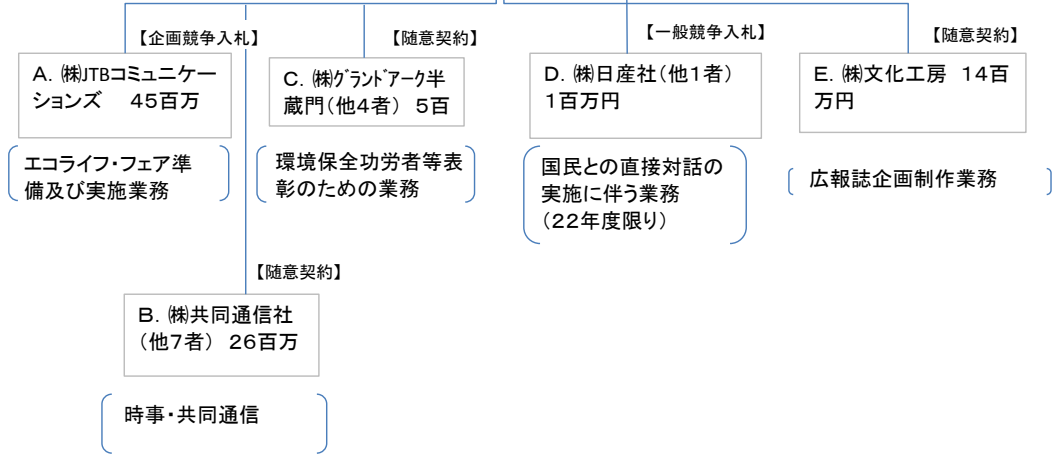
平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	環境保全普及推進費	担当部局庁	大臣官房	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成2年度	担当課室	政策評価広報課広報室	高橋 康夫			
会計区分	一般会計	施策名	9-4 環境情報の整備と提供・広報の充実				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境基本法第10条	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①エコライフ・フェアは、エコロジカルなライフスタイルについて、国民一人ひとりに対して広めていくことを目的に、環境問題の現状と将来について誰にでもわかりやすい形で紹介することにより、環境保全の大切さを理解してもらうとともに、環境保全活動への積極的な参加を促すことを目的として開催。 ②環境保全功労者表彰は、環境保全活動に取り組む者(団体)を称えることで、国民に対して自発的な環境保全活動を促すことを目的として実施。 ③環境行政普及徹底を行う経費は、環境行政について、広く国民の理解を高め、環境保全への参加を促すための重要な政策手法である。広報の充実強化を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①エコライフ・フェアは、環境基本法に基づく「環境の日」の事業として、環境省が開催。企業及びNGOをはじめ、業界団体、関連法人、関係地方公共団体が協力して、地球温暖化や生物多様性などを始めとした環境問題を解決するための具体的な活動の実施を促すため、活動参加型の展示、イベントを開催。約70,000人を超える来場者があり、環境保全活動の必要性を具体的な活動の気づき、及び実施のきっかけを提供する場として高く評価・認知されている。 ②環境保全功労者表彰は、国民各層の環境保全意識の高揚に資するために、毎年6月の環境月間に長年環境保全活動に取り組む、顕著な功績のあった者(団体)を表彰している。昭和51年から実施。 ③環境行政普及徹底を行う経費については、環境に関する国の施策や、各主体による環境保全活動をはじめとする環境関係情報を幅広く発信する広報誌(Web版)の企画・制作など、国民の環境行政に対する理解を深めるとともに、環境保全活動への参加を促すことを目的とする。併せて、共同・時事通信ニュースの提供を受け、環境行政普及徹底のための情報収集等を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	114	96	96	88	83
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	114	96	96	88	83
	執行額	114	88	91			
執行率(%)	100	92	95				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	環境月間主要行事のエコライフ・フェアなどに参加していただき環境保全の大切さを理解してもらうとともに環境保全活動への積極的な参加を促進する。	成果実績	エコライフ・フェアに参加してのアンケート結果	-	良い印象93%(大変良かった11%)	良い印象93%(大変良かった15%)	良い印象96%(大変良かった30%)
		達成度	%	-	93	93	96
活動指標及び活動実績 (アウトプット)			単位	20年度	21年度	22年度	23年度
	エコライフ・フェアの来場者数、環境月間行事への呼びかけ等	活動実績 (当初見込み)	人	66,444	64,764	69,892 (65,000)	72,622 (70,000)
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	1	1	事業内容の見直しによる減			
	環境保全調査費	87	82				
計	88	83					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>各業務については、以下のとおり様々な検討を行い、業務の効率性や競争性の高い調達方法を検討することで、必要最小限の経費を計上した。</p> <p>①エコライフ・フェア：環境保全上の配慮に重点を置き、発信力の高いブース展開を優先することにより、効率的な運営を追求するなど、準備及び実施業務の効率性を追求する。</p> <p>②環境保全功労者表彰：地域で環境保全に取り組む者（団体）が年々増加しており、経費が増額するところ、簡素化を旨とした合理化を図っている。</p> <p>③環境行政普及徹底を行う経費：</p> <p>i) 広報誌 電子書籍に必要な動画の数や長さを見直し、経費を合理化している。</p> <p>ii) 共同・時事通信ニュースの提供、情報収集等 真に必要な内容に限定した情報の提供を受け、それに基づいた情報収集等を行うことで合理化を図っている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>環境月間関連行事開催等実施経費について、実施内容を見直すことにより、予算額を節減すべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
<p>環境月間関連行事開催等実施経費の実施内容を見直し、概算要求額を減額。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

環境省
91百万円

〔環境保全普及推進のための経費〕



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単位:
百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記
 載)

A.. (株)JTBコミュニケーションズ			E.(株)文化工房		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	エコライフ・フェア準備及び実施業務等	45	雑役務費	広報誌企画制作業務等	14
計		45	計		14
B.(株)共同通信社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	共同通信ニュース提供	12			
計		12	計		0
C.(株)グランド・アーク半蔵門			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	環境保全功労者等表彰のための業務等	3			
計		3	計		0
D.(株)日産社			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	国民との直接対話の実施に伴う業務等	1			
計		1	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)JTBコミュニケーションズ	エコライフ・フェア準備及び実施業務	44.9	企画競争	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 共同通信社	共同通信ニュース「News Caster」提供業務	11.5	随意契約	—
2	(株)時事通信社	時事ゼネラルニュース提供業務	8.4	随意契約	—
3	(株)五月商会	「環境の日」及び「環境月間」広報用ポスター印刷業務等	2.3	随意契約	—
4	(株)ブラップジャパン	環境省幹部職員に対するメディアトレーニング	2.0	企画競争	—
5	(株)オリエンタル物流	「環境月間ポスター」の梱包及び発送業務	1.1	随意契約	—
6	有限責任事業組合 プラスディー	「環境月間ポスター」デザイン料	0.1	随意契約	—
7	(株)京急アドエンタープライズ	「環境月間ポスター」提出業務	0.1	随意契約	—
8	(株)メトロアドエージェンシー	「環境月間ポスター」提出業務	0.1	随意契約	—
9					
10					

支出先上位10者リスト

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	グランドアーク半蔵門	環境保全功労者等表彰式会場借料等	2.6	随意契約	—
2	(株)天賞堂	環境保全功労者等表彰の表彰状及び丸筒等	1.0	随意契約	—
3	(財)水と緑の惑星保全機構	環境保全功労者等表彰式実施業務	1.0	随意契約	—
4	(株)五月商会	環境保全功労者等表彰式パンフレット	0.1	随意契約	—
5	(独)国立印刷局	表彰状用紙	0.1	随意契約	—
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日産社	「国民との直接対話」開催業務	1.2	11	31.3
2	(株)ボックスコーポレーション代表取締役	国民対話講演業務	0.3	随意契約	—
3					
4					
5					
6					

7				
8				
9				
10				

支出先上位10者リスト

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)文化工房	環境省広報誌(電子書籍)企画・制作業務	14.0	企画競争	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					